

編集後記

今号は公契約条例制定を中心に入札制度についての武藤博己先生の講演録を特集しました。公共サービスを適正に提供するための入札制度の改革は待ったなしです。行財政改革という美名のもと、官製ワーキングプワを多数産み出している現状に対して先生の講演は警鐘を鳴らしています。

千葉県の大震災の被害は液状化現象と放射能汚染という被害をもたらしました。液状化については楡井久先生の講演会を予定していますし、原発問題について井下田先生の前発と地方財政について執筆していただきました。放射能汚染についても今号だけでなく、引き続き取り上げていく予定にしています。

大阪都構想と橋下市長の公務員バッシングの風が吹き荒れています。住民に直結し公共サービスを直接担う基礎自治体にとってこれらの動きをどう捉えたらよいのか、なにか、マスコミの報道では隠れているような気がします。小泉郵政選挙や、名古屋市の河村市長の減税問題などひとつの方向に一斉に向く日本の民主主義の熟成度が問われています。次回講演会では、大阪問題をとりあげます。

事務局長 高橋 秀雄

次回講演会予告

2012年6月16日（土）15時

千葉県労働者福祉センター4階会議室

講師 澤井 勝氏（大阪市政調査会会長、奈良女子大名誉教授）

橋下市長の大阪都構想など大阪で起こっていることを大阪市政調査会会長の澤井先生が地方分権の視点でお話されます。